

【東京都庁】(東京都新宿区)

写真の第一本庁舎は高さ243mで、国内では横浜ランドマークタワー、ミッドタウン・タワーに次ぐ高さを誇る。45階が展望室になっており、202mの高さから東京都内が一望できる(入室料は無料)。

TOKYOシャイン

<http://www.tokyoshigoto.jp>



vol.
11

発行 公益財団法人東京しごと財団／東京しごとセンター・ヤングコーナー
企画制作 パーソルテンプスタッフ株式会社
印刷 タナカ印刷株式会社
発行年月日 平成29年12月22日



輝ける仕事はここにある！

TOKYOシャイン



東京のキラリと光る
中小企業を10社紹介。
就職活動に役立つ情報が
きつと見つかるはず！

社会に貢献している企業特集

vol. 11

東京には働いてみたい 中小企業がたくさんある！

CONTENTS

- 04 10人の若手社員に質問！中小企業で働く魅力って、何ですか？
- 06 大森で100年以上、やきのりのおいしさを伝える老舗 ●株式会社守半海苔店（小売）
- 08 パルプ専門メーカーとして115年の歴史を持つ企業 ●フシマン株式会社（製造）
- 10 雨の日の活動をサポートするレインウェア等の企画、販売 ●株式会社トキワ（製造）
- 12 デザイン性を重視した郵便受けや宅配ボックスを販売 ●田島メタルワーク株式会社（卸・商社）
- 14 都市部における金属リサイクルに貢献する会社 ●森本鐵鋼産業株式会社（製造）
- 16 建物の安全を守るために鉄筋・コンクリートを検査 ●株式会社複合材料研究所（サービス）
- 18 冷暖房設備の専門家として、人々の役に立つ会社 ●北菱冷熱株式会社（サービス）
- 20 建設現場の交通誘導など、人の安全を守る警備会社 ●株式会社三洋警備保障（サービス）
- 22 マンションや空港などのセキュリティシステムを提供 ●株式会社ワーク・メイツ（建設）
- 24 地域コミュニティの一翼を担う障害者支援施設を運営 ●社会福祉法人章佑会（医療・福祉）
- 26 お父さん、教えて！『面接で「熱意」を伝える方法は？』

東京にはたくさんの企業があります。

その多くが日本の産業を支える中小企業で、一社一社にそれぞれの魅力があります。

しかし、求職者がそれらの企業について詳しく知ることはなかなか難しいのが現状です。

「TOKYOシャイン」は、20代・30代の若手求職者にもっと中小企業の魅力を知ってもらうことを目的に創刊されました。毎号、様々な切り口で、中小企業を紹介していこうと考えています。今号では、「**社会に貢献している企業**」を10社取り上げ、その魅力に迫りました。

あなたが知らない素晴らしい会社が、東京にはまだまだたくさんあります。ぜひ、あなたにぴったりの一社を見つける手がかりにしてください。

「東京しごとセンター」とは？

一人ひとりの適性や状況を踏まえたきめ細かな就業相談（キャリアカウンセリング）から、就職活動や就職後に役立つ知識・スキルを習得するための各種セミナーや能力開発、求人情報の提供・職業紹介まで、就職に関する一貫したサービスを提供しています。対象は、若年者から高齢者まですべての年齢層の求職者です。なお、34歳以下を対象にした「ヤングコーナー」は施設3階にあります。『ハローワーク飯田橋 U-35』が併設されているので、パソコンでの求人情報検索や、就職相談・職業紹介などのサービスを施設内でご利用いただけます。

【業務時間】

《平日》午前9時～午後8時 《土曜》午前9時～午後5時
※日曜・祝日および年末年始（12/29～1/3）はお休みです

【所在地】

東京都千代田区飯田橋3丁目10番3号 TEL 03-5211-1571
【URL】<http://www.tokyoshigoto.jp>



てるこ



てるお



伝統
を守る
一員になる

★株式会社守半海苔店
山野 むつみさん
(販売)

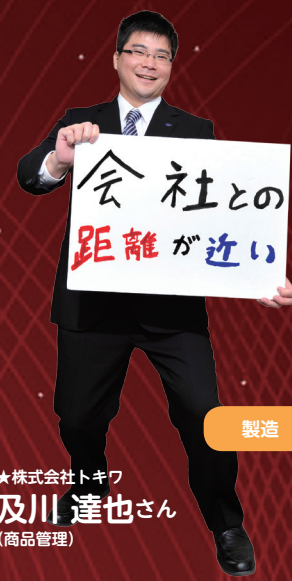
小売



専門的な
知識が
身に付く!

★フシマン株式会社
栗林 豊さん
(営業)

製造



会社との
距離が近い

★株式会社トキワ
及川 達也さん
(商品管理)

製造



フットワークの
軽さ!

★田島メタルワーク株式会社
中崎 良謙さん
(営業)

卸・商社

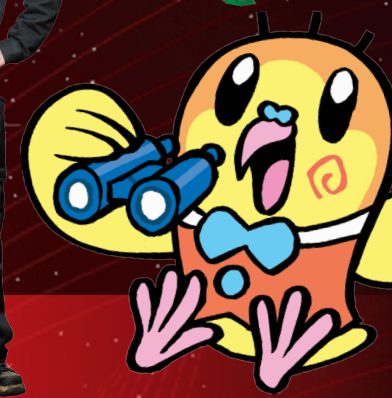
スキルが
広がる!!

★森本鐵鋼産業株式会社
遠藤 大輝さん
(技術)

製造

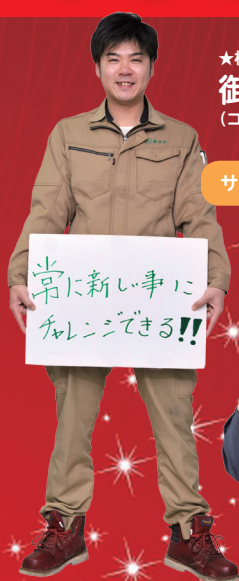


働けばわかる
魅力がたくさん
あるんだね!



10人の若手社員に質問!
中小企業で

働く魅力 って、何ですか?



常に新しい事に
チャレンジできる!!

★株式会社複合材料研究所
御園生 幸之介さん
(コンクリート技工)

サービス

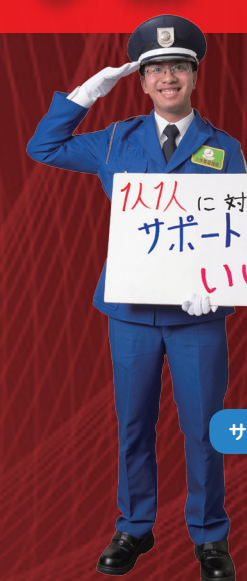


前向きに
チャレンジ!!

★北菱冷熱株式会社
岸 一樹さん
(保守点検)

サービス

第一線で活躍中の10人の皆さんに、
「あなたが考える中小企業で働く魅力」を伺いました。
ご覧の通り、答えはみんなバラバラ。
10人いれば10通りの答えがあるように、
中小企業の魅力は一言では語り尽くせません。
ここで登場してくれた先輩たちは、
このあとの企業紹介ページでも
インタビューに答えてられています。
先輩たちが生き生きと働く様子を、
ぜひチェックしてみてください。



1人1人に対する
サポートが
いい!

★株式会社三洋警備保障
江戸川
クリスチャン レイさん
(警備員)

サービス



様々な事に
挑戦できる

★株式会社ワーク・メイツ
土橋 一舞さん
(電気工事士)

建設



明るくて楽しい
雰囲気のある職場

★社会福祉法人章佑会
小泉 奈央さん
(生活支援員)

医療・福祉



株式会社守半海苔店

<http://www.morihan.jp>



やきのりの 徹底したこだわり

創業116年の株式会社守半海苔店は、やきのりの元祖といわれている。守半本店を開業した守屋半助氏の長男が、当時主流だった「ほしのり」を火鉢であぶることを考案し、同社の初代店主・初重がお茶の缶に入れることで「やきのり」を保存・販売することを考えたのだそう。

「当店のやきのりは、お客様に満足

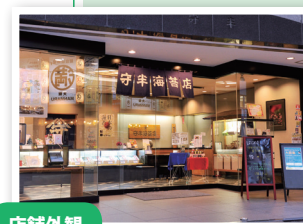
いただくために、味にも徹底してこだわっています。多くの河川が流れ込み栄養分が豊富な有明海産の初摘みの海苔のみを使用。初摘みの海苔は柔らかく、くちどけの良さとうま味のバランスが特徴の当店のやきのりにとても適しているんです」（代表取締役社長・小谷千砂子氏）

同店のやきのりは全て、地下にある作業場で熟練の職人の手によって作られている。その味は、「これがの



作業の様子

製造現場



店舗外観

りなんだ！」と口をついて出てしまうほどだ。

「自慢の味を若い人にも食べてもらいたいと、パッケージを工夫したり、新商品開発に力を入れたりもしています。当店は、創業以来こだわり続けてきた本物の味を守りながら、新しいのりの可能性開拓にも力を入れていきます。そのため、誠実さや粘り強さとチャレンジ精神ある積極的な人を求めています」（小谷氏）

「とても忙しく、あっという間に時間が過ぎていくんです。1日が終わると、『働いた！』という、ものすごい充実感を味わえました」（山野さん）

その感覚は、仕事を覚えていくにつれて大きくなっていったという。

「例えば、商品知識が増えるとお客様に喜んでいただける機会も増えていきました」（山野さん）

お年寄りが孫に美味しいやきのりを食べさせたいと来店した時は、最高級品ではなく、あえて歯切れのいい手ごろな価格の商品を勧めた。

「小さい子供なので、さらに口の中でほぐれて飲み込みやすい商品がいいと思ったのです。その気遣いをお客様が喜んでくださり、その後、当店をごひいきいただくようになりました。こういう時に、充実感とともに何とも言えない嬉しさがこみ上がってきます」（山野さん）



覚えることの多さが 大きな充実感につながる

友人の紹介で繁忙期に手伝いにきた際、仕事が面白くて入社した山野むつみさん。彼女の心を惹きつけたのは、やきのりのおいしさだけではなく、老舗ならではの落ち着いた接客や全国への発送準備、商品知識など覚えることの多さだったという。

経営陣に 聞く！

若い人にもやきのりのおいしさを伝えたい

ずっとこの地にお店を構えており、地元への貢献はいつも意識しています。商店街や大田区のイベントには積極的に参加していますし、7～8年前からは地元小学校の工場見学も受け入れるようになりました。最近は、毎日のりを食べるお宅も少なくなり、このあたりも120軒はあった海苔店が半分ほどに。このままのり文化が廃れないためにも、少しでも多くの人にのりのおいしさを知っていただく機会をつくっていきたくと思っています。



代表取締役社長
小谷 千砂子氏

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1901年10月
設立・1958年12月

【資本金】

1,000万円

【所在地】

◎本社
東京都大田区
大森1-29-3

【事業内容】

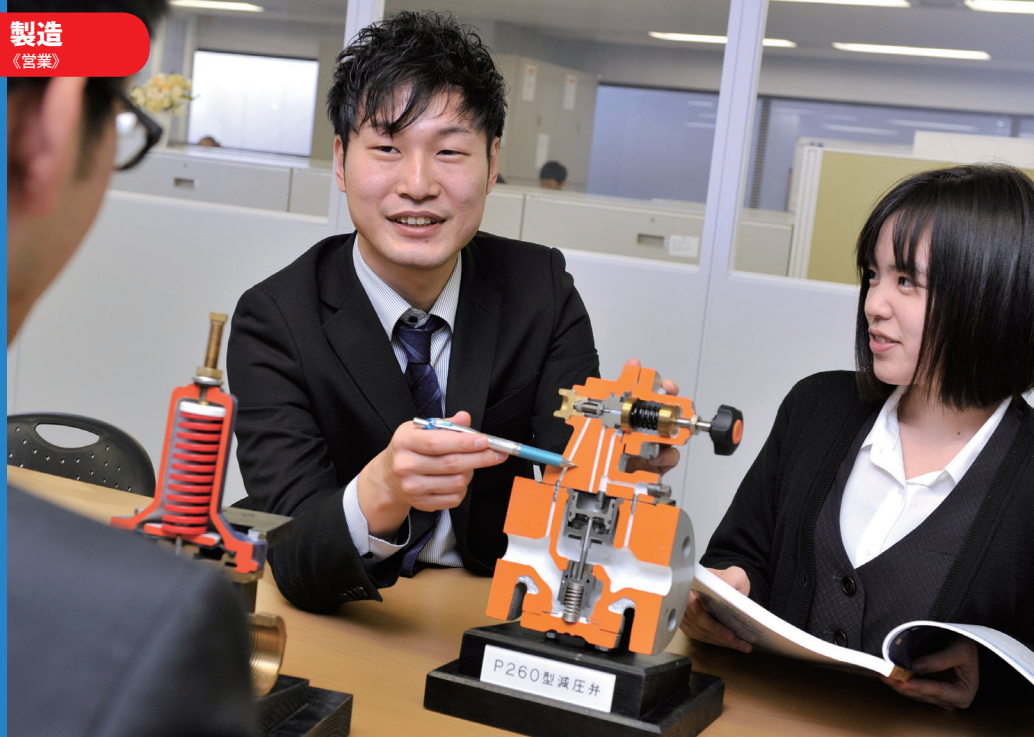
海苔・海苔佃煮・海苔茶漬の製造、販売

【従業員数】

12名

（2017年11月末時点）
※とてもアットホームな社風で、社長など経営層とも話しやすい雰囲気があります。





フシマン株式会社

<http://www.fushiman.co.jp>



“流体制御”一筋。
老舗バルブメーカー

創業はなんと明治35年(1902年)という長い歴史を誇るフシマン株式会社。バルブという、ビルや工場では必ず使われる部品を扱う老舗メーカーだ。「当社は、多種多様なバルブを製造しています。特に、外部エネルギーを使わない『自動調整弁』では国内でもトップレベル。大きいものになると、発電所で使われるようなものまであるんで

すよ」と語るのは、代表取締役社長の藤島建夫氏。

取引先は全国津々浦々に広がり、工場・プラント関係、建築設備関係、そして造船関係など、業種も幅広い。「当社の強みは、創業以来長年にわたり蓄積してきた技術。そして、工場と営業の連携が密で、お客様のご要望に合わせた製品を素早く提供することができる点です」(藤島氏)

同社では、自動調整弁の国内シェ



仕事風景

エントランス



工場外観

アをしっかり押さえている。世界のバルブ需要は6兆円とも7兆円とも言われる中で、日本メーカーが占めるのはそのうちの5000億円程度。藤島氏はそれをふまえ、成熟産業ではあるが未来は明るいと語る。「バルブは地味な部品ではあるかもしれませんが、需要はなくなりません。海外に目を向ければ広大な市場が広がっています。まだまだ成長の余地のある産業だと思いますよ」(藤島氏)

りますが、自分で提案したことが受け入れられて注文に結びつくと、とてもうれしいですね」(栗林さん)

営業社員であっても流体力学などの専門知識が必要だというのが、若手営業社員は意外にも文系出身者が多いそうだ。

「専門知識は勉強する必要がありますが、入社後にきちんと教えてもらえますので、問題ありません」とは、入社1年の後輩社員・酒井大地さん。事務担当の寺島沙耶さんも「先輩社員も皆話しやすく、何でも聞ける環境なので安心です」と語る。

最後に、栗林さんにフシマンでの仕事の醍醐味を聞いてみた。

「バルブという、建物や工場に不可欠な部品を通じて、社会を支えているという実感が味わえます。有名テーマパークや私も行く商業施設でも当社製品が使われていますからね」



社会に必要不可欠な
仕事をするよこび

栗林豊さんは、入社3年目。営業を担当している。得意先への訪問、見積、商品の手配、請求処理、そして時には作業服を着て、バルブを導入する現場での対応も行うという。

「お客様からの期待も高く、技術的知識も要求されるので、大変なこともあ

経営陣に
聞く！

環境負荷の少ない製品を提供し続けています

当社の扱うバルブは、工場・プラントはもちろん、建物にも必ず必要となる部品で、いわば社会の「縁の下力持ち」。さらに当社では「自力弁」という、動作にあたって電気などのエネルギーを使わないものを中心に扱っており、省エネルギー化、環境負荷の低減に一役買っています。加えて、福島工場や各地の営業所で、地元の人材を雇用することを旨としており、各地域での雇用創出にも貢献していると自負しています。



代表取締役社長
藤島 建夫氏

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1902年11月
設立・1950年11月

【資本金】

1,000万円

【所在地】

◎東京本社
東京都品川区
東大井2-13-8
ケイヒン東大井ビル2階

【事業内容】

自動制御弁、圧力逃がし弁及びトラップ、管継手、ストレーナを含む各種バルブの設計・開発・製造及びメンテナンス

【従業員数】

125名
(2017年11月時点)
営業部門は平均年齢40代ですが、世代交代が進行中。女性比率は社員全体の5分の1程度です。技術的知識が要求される仕事ではあるものの、入社後の教育体制は整っています。





株式会社 トキワ

<http://tokiwa1930.co.jp>



気持ちば快晴ね！
これで雨の日も



雨の日を快適にする 仕事、製品の数々

「雨が降っても傘を差すことができない方々が、雨の中でも快適に過ごせるようなレインウェアを企画・販売しています」と語るのは、株式会社トキワの代表取締役、萩原重睦氏。同社は1930年に雨合羽の製造販売会社としてスタート。萩原氏は87年の歴史を持つ企業の三代目だ。

「傘を差すことができない方の一例と

しては、雨の日には屋外で働く方々です。自転車やバイクに乗って仕事をされる方は、傘を差しながら運転はできません。その他、現場作業の人も同様です。そのような雨の中で働く方々に、当社の製品をお使い頂いております」（萩原氏）

特にデリバリー業者向け商品を得意としているという。

「雨の中でも安全で快適に仕事や趣味を楽しめるような製品づくりを心掛け



展示会風景

表彰実績



仕事風景

ています。日頃、社員に伝えているのは、『決して事務的ではなく、人とのつながりを大事に、社内外を問わずに接する』ということ。人を想う気持ちが、人の役に立つ商品作りへとつながっていきます。全社員が大切にしたい気構えです」（萩原氏）



雨の中で頑張る人を 陰ながら支えたい

中途入社して4年目の及川達也さん。前職はコンビニエンスストアで接客の仕事をしていた。

「目の前のお客様だけでなく、多くの方のお役に立ちたいと思い、トキワを志望しました」（及川さん）

現在の仕事は物流センターでの商品の入出荷や在庫管理。最近は生産計画の作成という新たな仕事にも挑戦しているところだ。

「数量やどんな商品を作るかというこ

とにも挑戦させてもらっています。スケジュール管理まで行うので責任は大きいですね。当社では主に製造は梅雨前と秋の長雨の季節の前に行いますが、天候などを考慮して数量などを組み立てるのが難しいところです。自分の担当している仕事が会社の業績に直結する点に、やりがいを感じています」（及川さん）

台風シーズンなどは分刻みで発注が重なり、在庫管理も時間との勝負になる。当日出荷に間に合わせるために、配送業者と交渉して、集荷時間を遅らせることもしばしば。

「商品を必要とされている方、待っている方が全国にいらっしゃいます。雨の中で屋外活動をしている方々は、私たちの社会を支えてくれている人たちばかり。彼らを陰ながらサポートできるという点で、社会に貢献できていると感じています」（及川さん）

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1930年4月
設立・1956年8月

【資本金】

1,000万円

【所在地】

◎本社
東京都千代田区
外神田6-4-5
藤和妻恋坂コープ9階

【事業内容】

レインウェアをはじめとした防水製品の企画、製造、販売

【従業員数】

6名
(2017年11月時点)
※年齢、経験を問わず、前向きな気持ちで積極的に行動できる人が活躍しています。

経営陣に 聞く！

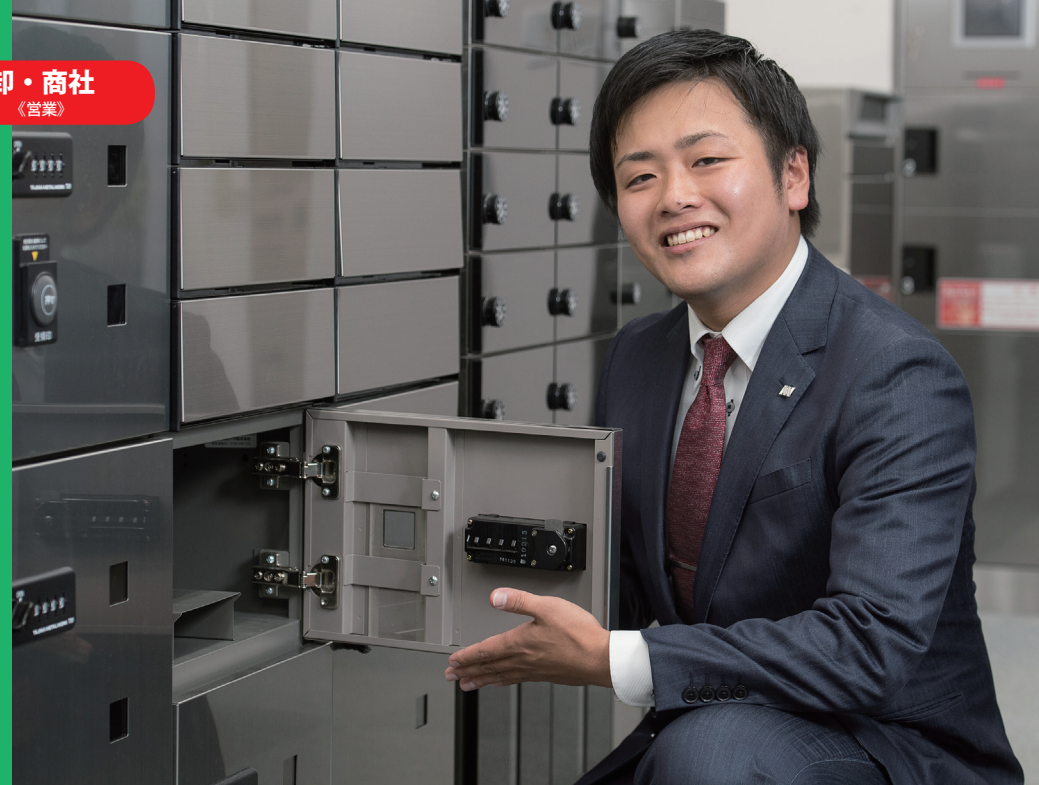
会社をあげて日本赤十字社に20年以上寄付活動

先代が長崎の島原で養護施設のボランティア活動を行っていた縁で、普賢岳の震災時にはご縁のある著名人の方々のご協力を得てチャリティオークションを実施しました。また、阪神淡路大震災時はチャリティゴルフを主催して寄付を募りました。以来、日本赤十字社との付き合いが始まり、20年以上にわたりチャリティゴルフやパーティの主催を続けています。今後も、「いつの時代もコンスタントな社会貢献」というスローガンのもと、会社ぐるみで社会貢献できるよう努めていきます。



代表取締役
萩原 重睦氏





田島メタルワーク株式会社

<http://www.metalwork.co.jp>



欲しい〜！
宅配ボックスが
ウチにも



顧客ニーズに合わせて
オーダーメイドする

創業以来、集合住宅などによく見かけるステンレス製の郵便受けや玄関プレート、表札などを作り続けてきた田島メタルワーク株式会社。それもそのはず、1960年代に国内のあちこちで団地が建てられた際に集合郵便受けが初めて作られたが、実はそれを手掛けていたのが同社なのだ。「一番の特徴は、工場を持たずに生産

していることです。お客様のニーズに合わせて素早くオーダーメイドしています。規格品では対応できないきめ細かいモノ作りが得意です」（代表取締役社長・荒木茂実氏）

そうした小回りのきくモノ作りは、大手の参入を寄せ付けない。しかもステンレスの美しさを生かしつつ、色やデザインにもこだわった商品を多数投入。最近では宅配ボックスの需要も高まっており、多品種開発を



仕事風景

エントランス



社会活動

行うことで成長を続けているのだ。「もちろん経営者としてビジョンを示すことはしますが、製品ありきでは考えません。なぜなら『人』が全てだからです。働く社員一人ひとりの個性が新しい商品を生み出す力となり、会社の未来を作っていくのだと信じています」（荒木氏）

いろんな個性・独創性のある人がいてこそ、切磋琢磨できる環境が生まれる。社内に多様な価値観を取り入れることに何よりこだわるのは、そうした理由があるのだ。



先輩に教わりながら
一人前を目指す

「生活に近い製品を扱うメーカーで営業の仕事をしたい」と考えて田島メタルワークへの入社を決めたのが、2015年12月入社の中崎良謙さん。「宅配ボックスに代表されますが、

モノを受け取る人や宅配する人の困りごとを解消し、不便を便利にできる仕事は魅力的でした」（中崎さん）

現在は営業としてステンレス製のインターホンカバーの販売・企画・製作を担当している。

「主に改修物件を担当し、工事の業者さんやマンションの管理会社に営業を行っています。事前調査から金額交渉、納期の調整・手配まで全てを任されているのでやりがい大きいんです。短納期への対応など苦労することもあります。任されている実感があるんです」（中崎さん）

2017年度上期は、営業成績が優秀で社内表彰もされた。

「今後はもっと商品知識をつけて、引き出しの多い営業になりたいですね。数字を残せば収入を上げられる点も、この仕事の醍醐味だと思います」（中崎さん）

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1963年4月
設立・1963年4月

【資本金】

1億円

【所在地】

◎本社
東京都豊島区
東池袋4-41-24
東池袋センタービル3階

【事業内容】

金属製金物販売業

【従業員数】

49名

（2017年11月末時点）
※20代が9名、30代が6名、40代が13名、50代が21名となっており、最近では若手社員を積極採用しています。女性社員比率は約30%。ベテラン社員が親身になって後輩を指導する社風があります。

経営陣に
聞く！

社会奉仕活動以外に、モノ作りでも環境に配慮

当社では三和グループの一員として、社会貢献倶楽部に参加しています。一口100円から、子どもの自立や病気支援などのための寄付を行えるので、任意で社員にもお願ひしています。また、年に一度は地域クリーン活動も実施。会社の周辺のゴミ拾いをし、社員の環境意識の向上にも努めています。事業の面では、ステンレスの美しさにこだわり、コーティング以外は極力塗装をしないことも、地球環境への配慮という点でこだわっています。



代表取締役社長
荒木 茂実氏





森本鐵鋼産業株式会社

<http://mori-tetsu.co.jp/wordpress>



時代なのね！
金属もリサイクルの



金属をリサイクルして 海外にも出荷

都市部では、日々、大量の廃棄物が排出されているが、その中にはリサイクルできる資源も多く含まれている。森本鐵鋼産業株式会社は、そんな廃棄物の中から鉄や銅、アルミなどの金属を集荷、選別して加工処理を行った後、製鋼材料としてメーカーや海外へ出荷しているのだ。

「金属リサイクルを主とした環境事業、

それが創業以来50年以上にわたって当社が取り組んでいることです。国内で鉄は年間約1億トン作られています。そのうちの3～4割はリサイクルされた材料が使われています。また、世の中の多くのものに金属が使われているため、リサイクルの需要はなくなることがありません。つまり、私たちが手掛ける事業は必要とされ続ける。そこが最大の強みですね」（代表取締役・森本勝治氏）



同僚社員

仕事風景



会社外観

しかし、必要とされ続けるからこそ
の難しさもある。
「都内から集められる金属は、種類が非常に豊富。アルミ製品一つとっても、何種類もあり分類を間違えるとリサイクルに回せなくなってしまいます。そのため、こちらでも知識を深め続けていかなければいけない。そこが大変ですが、世の中の役に立つ仕事に携わるやりがいと思えば、大したことはありません」（森本氏）



集荷から加工、出荷。 全てをできるように！

以前はトラックドライバーをしていた遠藤大輝さんは、「建設機械の操作・運転もできるようになり、仕事の幅が広がる」と、2017年2月に森本鐵鋼産業へ入社した。
「トラックで運ばれてくる鉄板やパイプ、H形鋼、サッシなどの廃材をバッ

クホーや定置式ヒアブローダーなどで所定の場所へ移動。バックホーなどで取れない細かいものは、マグネット天井クレーンを使います。尺の長いものは、圧縮切断機で適切な長さに切断してから、再度トラックに積んで、メーカーや海外へ出荷する。この一連の作業全てを一人でできるようになるのが目標です」（遠藤さん）

とはいえ、今はまだ知識を吸収する段階で、金属の選別一つとっても先輩の力を借りながら作業を進める状況だという。
「経験を積めば、見ただけで大抵のものは判別できるようになるので、早く自分もそうになりたいです。今は日々できることが増え、『働いている感』があります。全て一人でできるようになった時に、どれほどの達成感があるのか、今から楽しみです」（遠藤さん）

経営陣に 聞く！

金属リサイクルの知識を深め社会に貢献する

有限である資源を無駄にしないためには、リサイクルが欠かせません。日本のような小資源国では、その重要度はより高いものになります。しかし、技術の進歩によって、金属の種類や処理方法も多様化し、リサイクルに携わる私たちも新しい素材や機械などの知識を学び続けなければなりません。それが社会に貢献し続けることにつながるのだと思います。だから好奇心を持ち、新しいことにも前向きに、一生懸命取り組める人が向いている仕事です。



代表取締役
森本 勝治氏

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1960年4月
設立・1969年3月

【資本金】

1,200万円

【所在地】

◎本社
東京都板橋区
小茂根2-22-10

【事業内容】

製鋼原料・非鉄金属のリサイクル事業、産業廃棄物中間処理・収集運搬業など

【従業員数】

22名
(2017年10月末時点)
※先輩・後輩の人間関係も良好で、和気あいあいとした距離の近さもあります。男女問わず、多くの未経験者が活躍しています。





株式会社複合材料研究所

<http://www.fukugo.co.jp>



鉄筋・コンクリート調査の
草分け的な会社なんだね



第三者検査機関の 草分け的存在

民家、マンション、ビル、大型施設などの建物の建築時に、コンクリートや鉄筋などの検査を請負うのが株式会社複合総合材料研究所。2017年で40周年を迎えた、業界におけるパイオニア企業だ。
「元々はコンクリートなどを提供する会社が検査も同時に行っていました、当社が『第三者』としての検査業務を

スタート。行政側が後からルール作りをしたという経緯があります」

そう語るのは、代表取締役を務める稲垣栄氏。二代目社長として会社を切り盛りする。

「第三者機関として鉄筋、コンクリートを調査した会社は私達が先駆けでしょう。ただ、設立当時は需要が少なかったで、まずはその意義をお客様に伝え、ニーズを掘り起こすところから始めました」(稲垣氏)



会社外観

仕事風景



同僚社員

鉄筋、コンクリートともに、それぞれの材質に合った検査が必要だ。しかも検査は建築のたびに実施する。「鉄筋は繋ぎ目がきちんと繋がっているか、強度を機械で検査します。コンクリートは砂や砂利、セメントを水で練って固めますが、その品質が均一に保たれているかを検査して安全性を確かめます。サンプルを採集して成分を確かめたり、何十トンもの力をかけて強度をチェックしたりもします。これらは全て、人々の安全のために必須の検査なのです」(稲垣氏)

「当社では、担当現場の建物が完成するまで、検査員として関わります。プロジェクトの最後まで責任を持って検査を行い、完成まで見届けられるのがやりがいですね」(御園生さん)

御園生さんの仕事は、コンクリートの打設前の現場に行き、材質が規格に収まっているかを調査すること。同時にコンクリートのサンプルを採集し、社内で圧縮強度試験を行う。

「それぞれ規格があり、検査する担当としての責任も大きくなります。まずは社内研修で専門技術を学び、その後は仕事をしながら公的な資格を取得していきます」(御園生さん)

働きながら経験を広げていけるところに、非常に満足しているという。

「安全を守る責任重大な仕事。それを任されることに意義を感じますし、自分が手がけた建物を見ると、誇らしい気持ちになります」(御園生さん)



建設初期から完成まで 段階別に検査を行う

御園生幸之介さんは、3年前に中途入社。前職は戸建て住宅の地盤調査の仕事をしていた。前職時に大きな建物の検査に興味を持ったのが、入社理由だという。

経営陣に 聞く！

検査を通じて人の生命と、安全な暮らしを守る

検査は建物の安全を確保するためにはなくてはならない仕事です。戸建て住宅やマンションに住む方、建物を利用する方にとって、安全は目で見えません。その安全について検査を通じて裏付けを行い、安心を記録化、数値にして可視化するのが私達の役目です。万一の際には人の生命に関わる仕事ですから、仕事を通じて社会に貢献しているという意識を強く感じられると思います。家族や友人に対して、胸を張って自慢できる仕事です。



代表取締役
稲垣 栄氏

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1977年4月
設立・1978年11月

【資本金】

1,000万円

【所在地】

◎本社
東京都江戸川区
東小松川4-46-1

【事業内容】

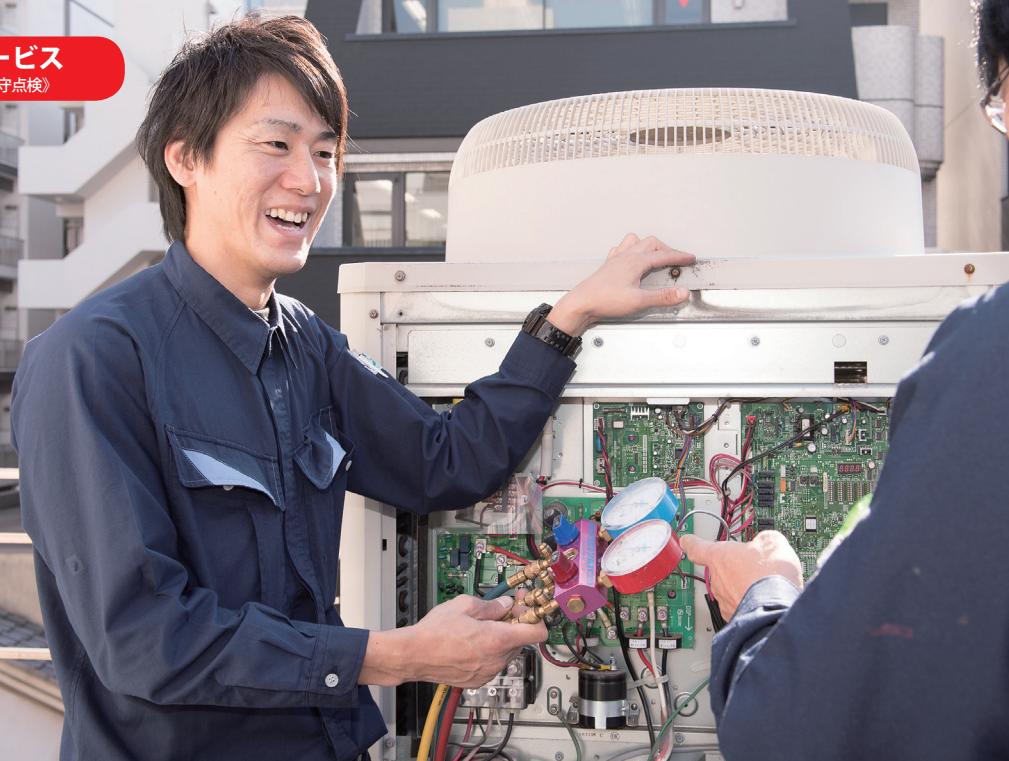
鉄筋・コンクリートの民間第三者試験業務など

【従業員数】

28名

(2017年11月時点)

※年齢や経験、技術を問わず積極採用を行っています。入社後は3カ月間程度の基礎研修で最低限のスキルが身に付けられるため、多くの未経験者が活躍しています。



北菱冷熱株式会社

<http://www.hokuryo-reinetsu.co.jp>



自分たちで
部品も作っちゃう
なんてすごい！



全メーカー対応で
顧客のお役に立つ

赤坂に本社を置く北菱冷熱株式会社は、人々の活動に必要な冷暖房設備の保守・整備を行っている。契約先は都内に約1000件。さらには周辺地域へも営業先を広げている。「当社の強みは、全メーカーの冷暖房機に対応できること。他の会社は、メーカーとのしがらみもあり、特定のものしか対応できないところも多いです

が、それではお客様のご要望にお応えできません」と語るのは、三代目社長として、同社のさらなる業容拡大と改革を指揮している、代表取締役社長の南口元成氏だ。

「空調機は突然壊れるもの。しかし、暑い、寒いという状況は待つてはくれません。できるだけ早く直して快適な環境を取り戻していただくことが、お客様の役に立つ道です」（南口氏）

山手線圏内なら連絡から1時間で出



職場風景

仕事風景



会社外観

張対応するなど、早い対応にも自信を持つ同社は、社員に対しても手厚い対応を取っている。

「人事考課制度や退職金制度を整えて安心して働けるようにし、さらには集中して働けるよう時短にも取り組んでいます。社内SEを入れて事務処理をシステム化したのもその一つ。危険を伴う作業もありますから、仕事を早く終わらせて、趣味や休養でリフレッシュしたうえで仕事に臨んでほしいですからね」（南口氏）



風通しのよい会社で、
人に喜ばれる仕事を

入社して2年になる岸一樹さんは、現場での冷暖房機メンテナンスを担当。前職ではガラス修理やフィルム施工など、いろいろな困りごとに対応する仕事をしていたという。「長時間の移動など、かなり仕事がハー

ドで大変でした」と語る岸さん。転職にあたっては、人の役に立てて、なおかつ需要のある仕事とを考えた。「エアコンはどこ建物もあります。困っている人の役に立てて、なおかつ人々の住環境を支える仕事である点に魅力を感じました」（岸さん）

もちろん冷暖房の知識はゼロだったが、社内研修や先輩社員に教わる中で知識と経験を身に付けていった。現在では助手から「班長」に職位も上がり、千葉エリアでの営業活動を担当するようになったという。

「キチンと直して、お客様から『冷房が故障してサウナのような感じだったけど助かったよ。ありがとう！』というような喜びの声をいただくと嬉しいです。同世代の仲間も多く、先輩や社長との距離も近く、困った時も話しやすいんです。とても風通しの良い会社ですよ」（岸さん）

経営陣に
聞く！

困った方は必ず助ける。それが当社の社会貢献です

冷暖房はどこ建物にもあり、必要不可欠なインフラです。それを整え、地球温暖化対策の一翼も担う私たちの仕事自体が、社会貢献だと考えています。さらに当社では、部品がないなどでメーカーに修理を断られたものも直しています。以前、私自身も「亡き夫が買ってくれた古いエアコンをどうしても直したい」という方のご要望で、修理を担当したことがあります。困っている方がいたら、助ける。それが当社のモットーなんです。



代表取締役社長
南口 元成氏

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1981年6月
設立・1981年6月

【資本金】

3,000万円

【所在地】

◎本社
東京都港区
赤坂2-16-9

【事業内容】

冷暖房機の保守・管理
(メンテナンス) および
設備工事業

【従業員数】

45名

(2017年11月時点)

※社員は30代中心ですが、20代の若手社員も増えてきています。女子比率は15%ほどで、現場でメンテナンスをするのは男性のみ。技術については入社後きちんと学べるため、文系出身の社員も多いです。





株式会社三洋警備保障

http://www.tosnet.co.jp/group/sanyo_keibi



安心するね
警備の人がいると



警備に必要な知識は 会社が全面サポート

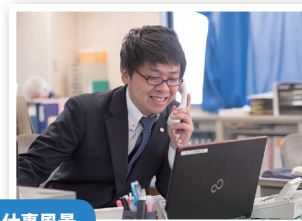
2020年の東京五輪開催に向けた建築ラッシュを受け、建設現場の交通誘導警備を中心に警備業の需要が高まっている。

「当社では“警備の基本は教育”をモットーに、新卒・中途を問わず資格の取得を推奨しています。資格によっては取得のために10万円程度の費用が必要ですが、それは全て会社が負担し、

社員をサポートしています」

そう語るのは取締役統括責任者の赤津誠司氏。自身も43歳で転職し、最初は警備員としてキャリアをスタート。現在は取締役を務めている。

「警備業法では業務ごとに検定資格があります。例えば1号業務は施設警備業務検定、空港保安警備業務検定となり、それぞれに1級、2級の資格があります。2級は受験資格を問わず、1級は2級取得後、短いもので1年間の



仕事風景

勤務が必要です」(赤津氏)

資格サポートだけでなく、未経験者向けの研修制度も充実する同社。入社後は不安なく働ける体制にある。「最低30時間以上の座学研修を行っています。加えて、独自の研修として約1カ月間合宿を行います。警察の協力を得て、交通安全センターの司令室や各企業の見学を行い、見識を広めます」(赤津氏)



資格取得を通じて 業務に自信が出る

同社が請負う業務は建築現場交通誘導警備を中心に、コンサート会場等のイベント警備、スポーツ競技警備、さらに大型スーパーマーケットの駐車場誘導警備など様々だ。

新卒で入社し約8カ月が経過した江戸川 クリスチャン レイさんも、研修でスキルを身に付け、交通誘導警備を

社内風景



中心とした業務に就いている。

「日常の安全を支えたいという気持ちがありました。学生時代にも、駅で利用客の安全確保を担うアルバイトをしていたんです」(江戸川さん)

入社後は家電量販店の駐車場警備、東京駅におけるバス誘導などを経て、現在は路線バスのポーター業務(案内役)を行っている。

「誘導業務ではバスを停めて歩行者を通し、バスを誘導します。先日は交通誘導警備業務の2級資格を取得。今後とも資格取得しながら仕事の幅を広げていきたいです」(江戸川さん)

業務や資格勉強を通じてスキルアップし、手ごたえを感じている。

「試験は専門用語が多いのですが、それを理解することで自信を持った誘導ができます。これからも、警備員として当たり前の日常を守っていきたいです」(江戸川さん)



会社外観

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1982年2月
設立・1982年2月

【資本金】

2,000万円

【所在地】

◎本社
東京都世田谷区
代沢5-29-15
SYビル3階

【事業内容】

建築・土木工事、管工事、
道路舗装工事等の現場
における安全管理

【従業員数】

120名
(2017年12月時点)
※年齢や経験を問わず
に積極採用中。社員の
約8割が全くの未経験
者からスタートしてい
て、研修、業務、資格
取得を経て、警備の
プロとなります。

経営陣に 聞く！

「見せる警備」で社会を守る役割を遂行する

警備員が現場にいることで危険や犯罪を回避でき、安心できるもの。当社では、制服の乱れがなく、姿勢を正してきちんとした対応ができる警備員の総称として「見せる警備」を徹底しています。また、建設現場などでAEDの講習会を無償にて行っています。これは建築現場のみならず、企業単位でもご依頼を受けて講習会を行うことがあります。見せる警備に加え、このような活動を通じて社会に貢献していくことを目指しています。



取締役統括責任者
赤津 誠司氏





株式会社ワーク・メイツ

<http://www.workmates.co.jp>



安心な街づくり



高品質施工で
実績を築いてきた

創業30周年を迎えた株式会社ワーク・メイツ。大手電機メーカーの協力会社として、無線LANなどの情報通信設備の工事、監視カメラに代表されるセキュリティの管理システムの構築や設計、施工を手掛けている。受注先は民間だけでなく、公共事業も元請として受注し、施工する。

「電気工事では港区の小中学校の電気

設備の工事、街路灯の交換工事なども行っています。一方、電気通信工事は大手メーカーの協力会社として連携が取れており、メーカー製品の監視カメラや無線LAN設備の施工などを手掛けています」

そう語るのは代表取締役副社長の渡里潤也氏。創業以来、現場の技術力を高めることを目指し、高品質の工事を提供し、実績を築いてきた同社。

「私自身もそうですが、未経験スター

仕事風景



社内風景



エントランス



トの社員が多いのが特徴です。基本的にチームで動いて施工しますので、先輩社員の元、現場で技術を習得していきます」(渡里氏)

現場の規模にもよるが、通常は3～4名のチーム体制で稼働。10数台のカメラを1日で設置完了するなど、現場ではスピーディな働きも求められる。「新業務として主要駅にあるデジタルサイネージの設置や、大型商業ビルの防犯カメラの設置なども手掛けています。街やビルなど、安全を守るために不可欠な仕事です」(渡里氏)



誰かに話したくなる
自慢できる仕事！

土橋一舞さんは、高校を卒業後、新卒で入社した。

「もともと通信工事を志望していましたが、通信工事だけでなく電気工事も手掛けているということで、幅広

く経験が積めるのではないかと入社を希望しました。現在は通信工事の部署に配属されています」(土橋さん)

通信工事に興味があったという土橋さん。電気工事よりも専門的な知識が求められそうだが、その点に魅力を感じたという。

「現在は私鉄沿線の駅に設置する防犯カメラ工事を担当。6～7名のチームで分担してカメラを設置します。道具の使い方などもわからないことばかりですが、先輩に教わりながら少しずつ習得しています」(土橋さん)

先輩のサポートをしながら、技術や知識を学ぶのが楽しいという。

「防犯カメラを設置して、撮影できる範囲の広さに驚きました。日頃は目立たないカメラですが、駅や街の犯罪を未然に防ぐことができるんだと思うと、やりがいを感じます。自慢できる仕事です！」(土橋さん)

【創業・設立】

創業・1987年7月
設立・1987年7月

【資本金】

5,000万円

【所在地】

◎本社
東京都港区
芝浦4-3-4
田町きよたビル5階

【事業内容】

電気通信設備・電気設備・防犯設備工事(設計・施工・メンテナンス)、電子機器の販売など

【従業員数】

78名
(2017年11月時点)
※社員の8割から9割が未経験者で、転職者が多く活躍しています。未経験者の視点で仕事を教える風土があるため、安心して技術が習得できます。

経営陣に
聞く！

セキュリティ設備のノウハウで安心の環境を

監視カメラは設計図面を元にケーブルを引いて設置し、映像のテストを行ってカメラに映る範囲の画角を調整します。当社では、どこに設置すべきか、撮影範囲の調整をどのようにすれば良いかといったノウハウを持っています。また、カメラが壊れた場合などにすぐに対応できる体制を整えています。例えば空港では約200台のカメラを担当しており、その全てが防犯に役立てられています。安全に直結する仕事なので、正確な手順での作業を心掛けています。



代表取締役副社長
渡里 潤也氏





社会福祉法人章佑会

<http://www.yasuragi1977.jp>



笑顔になるね！
環境は
元気でいっぱい



**社員の個性を尊重し
職場定着率は90%以上**

練馬の閑静な住宅街にある障害者支援施設「やすらぎの杜」を訪れると施設長の馬場八重子氏が大きな笑顔で出迎えてくれた。

「この施設では主に知的障害を持つ方の自立支援を行っています。若い社員が親身になってサポートする姿を見ると感謝の言葉しかありません。良い社員に恵まれて幸せです」

「やすらぎの杜」では、入所と通所での支援を実施している。パン作りや陶芸、音楽活動などのレクリエーションを通じ、地域で生活する上で必要なことを生活支援員のサポートを受けながら学んでいるのだ。

馬場氏は「やすらぎの杜」の施設長ではあるが、母体となる章佑会の会長を兼務しており、その人柄に惹かれて勤務する社員も多い。

「ご利用者様の状態は一人ひとり異なる



仕事風景

ります。毎日接しながらその方に合った支援を通じて成長してもらっています。自分で考え行動できるので、本人のやる気も出ます。もちろん分からないことがあれば先輩が全力でサポートします」(馬場氏)

大正生まれの馬場氏に見守られながら、笑顔で利用者に寄り添う社員たち。社員の個性を尊重する社風で、職場定着率は90%以上を誇っている。



**やりがいは
ご利用者の笑顔！**

入社1年目の小泉奈央さんは、学生時代は社会学を専攻。一般企業への就職も考えたが、興味を持っていた介護福祉業界へ飛び込んだ。

「就活でいろいろな施設を訪問しましたが、ここのスタッフが一番明るく、ご利用者様が元気でした。ここしかない！と直感で入社を決めたんです」

仕事風景

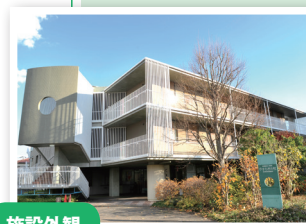


(小泉さん)

現在は、生活支援員として利用者の生活支援、入浴・食事の介助等を担当。介護は未経験だったが、毎日の活動を通じて支援スキルを身に付け、入社半年後には個別の支援計画の作成を任せられるようになった。

「最初は不安でしたが、担当するご利用者様のお役に立ちたいと一生懸命取り組みました。一緒にカメラを買いにいった『楽しかった』と言ってもらえた時には本当に嬉しかったですね。ご利用者様の笑顔が一番のやりがいです」(小泉さん)

支援の引き出しを増やすことで、どんな障害を持つ方でも対応できる支援員として成長したいという小泉さん。「目標となる先輩がたくさんいます。教わったことを実践しながら自分らしい支援ができるようになりたいですね」と、夢を語ってくれた。



施設外観

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1994年3月
設立・1994年3月

【資本金】

97億5024万円

【所在地】

◎法人本部
東京都練馬区
大泉学園町7-12-30
◎やすらぎの杜
東京都練馬区
関町北5-7-10

【事業内容】

関東を中心に老人介護施設、障害者支援施設、高齢者・障害者複合施設など28の事業所を展開

【従業員数】

769名
(2017年11月時点)
※やすらぎの杜の職員数はパートを含めて65名。明るいうスタッフが元気に活躍しています。

経営陣に
聞く！

地域のコミュニティに貢献できる施設でありたい

「やすらぎの杜」は地域に根差した障害者支援施設です。ご利用者様が施設周辺の道路の清掃をしたり、地域の祭りに参加して施設内のパン工房でつくったパンを販売する等、コソコソと信頼関係を築くことで地域のコミュニティにも受け入れられています。今では、地域の小中学校の生徒との交流等、コミュニティの一員としての役割が期待されています。今後も地域の方々に貢献できる存在として活動していきたいですね。



施設長
馬場 八重子氏

てるお・てるこの

お父さん、
教えて！



面接で「熱意」を伝える方法は？

POINT ① 面接では仕事で大変なことを聞こう

面

接は企業のことを知るための貴重な場。企業側も「自社の強み」や「力を入れていること」など、求職者にアピールしたいことをたくさん話してくれるはず。だからこそ、企業が隠したいようなことを質問した方がいいんだ。いろいろあるけど、その中で熱意のアピールにもつながりやすいのが「仕事の大変さ」についての質問。例えば「若手社員は仕事のどんなことに苦労しているのか」「打ち当たる壁にはどんなものがあるのか」「習得に時間のかかる資格や技能」などを聞いてみるのがオススメ。事前に知っておけば覚悟も決まるし、長く働くためにはちゃんと知っておくことも大切だね。それに、みんなもそういうことこそ、知りたいでしょ？



「大変なことを教えて」と質問するよりは、お父さんが言うように具体的に聞いた方がいいね

大きな声で
ハキハキと
話すことも
大事だよ！



POINT ②

その答えは信頼できるものかな？

実

は大事なのが、大変なことを聞いた時の相手の答え方なんだ。もちろんその内容を知ることにも目的なんだけど、そういう言いにくいことをどういうふうに教えてくれるかで、その企業の誠実さや人材への考え方が見えてくるもの。信頼できるかどうか、ぜひ判断材料にしてみてね。もちろん大変さの中身が分かれば職業理解にもつながるよね。それは自分にとっても大変そうなのか、どうすれば乗り越えられそうなのか、企業選びの判断材料にしてみてね。万が一、「この仕事は無理そうだ」と思ったら、「東京しごとセンター」のキャリアアドバイザーに相談してみてね。

どんな仕事でも大変なことはあるもの。
「ない」なんて言われたら、逆に疑ってみて！



面接は貴重な自己アピールの場。興味のあることや得意なことなんかを話せば、あなたがどんな人か企業も理解しやすいよね。だけど、それだけでは「熱意」は伝わりにくいんだ。どうすればいいのか、3つのステップで紹介するよ。



てるおと
てるこのことを、
もっと知りたい
あなたは
ぜひチェック！

大変な仕事への向き合い方を伝えよう！

POINT ③

熱

意のアピールにどうつなげるか。それは「大変なこと」にどう向き合うかを伝えることなんだ。大変なことだからこそ、当然苦労が伴うわけで、それでどうチャレンジするか、壁を乗り越えるためにどんな工夫をするかを、自分の言葉で話してみてね。あわせて「これまでの経験の中で大変だったけど乗り越えた話」なんかを付け加えてみると、説得力が増すのでオススメ。困難に直面した時にどう頑張れるかが、その人の「人となり」を表すし、取り組み姿勢そのものが「やる気」や「熱意」となって伝わるというわけ。熱意を伝えるのが苦手な人は、ぜひ意識してみてね！

「やる気があります」と言うのは簡単だけど、それだけでは伝わらないからね～



『てるお』&『てるこ』のQ&Aコーナー

[Q1]

2人が最近した「ちょっといいこと」を教えてください！

今号のテーマ「社会貢献」にちなんで、2人にも聞いてみたよ。
「うーんと……ゴミ拾い！この前、会社の前を清掃している若い人たちがいたので、僕も参加してお手伝いしたんだよ！」(てるお)
「赤い羽の募金かな。インコなのに、なんて言わないでね！」(てるこ)

[Q2]

お父さんのお家はどこ？

てるおとてるこのお家がヤングコーナーの中にあるのは、みんな知っているよね。ではお父さんはどこに住んでいるのだろうか？
「うふふ。それはね、緑に囲まれた自然豊かなところなのよ。立派なお家で、私たちもたまに遊びにいくんだ～」(てるこ)
気になる人は、2人をつかまえてもっといろいろとヒントを聞き出してみて！